

硬式野球部監督に金田氏就任。



2017年7月1日(土)付で元中日ドラゴンズの選手、金田 進氏が名古屋学院大学硬式野球部監督に就任しました。硬式野球部は、2017年4月8日(土)～5月21日(日)、愛知大学野球連盟主催の平成29年度春季リーグ戦において2部Aリーグ1位の結果、プレーオフに進出。惜しくも東海学園大学に敗れ1部昇格とはなりませんでしたが、1部昇格を目指し日々練習に励んでいます。



【金田 進氏プロフィール】

1960年6月15日生まれ、57歳。大阪府出身。近大付属高校では1978年、捕手、二番打者として夏の甲子園府予選決勝に進出。高校卒業後は丸善石油(現・コスモ石油)に進む。1981年の都市対抗には四国銀行の補強選手として出場。同年、ドラフト4位指名で中日ドラゴンズに入団。1983年、16試合に先発マスクを被る。1991年限りで現役引退。引退後はブルペン捕手を経て、1996年から2004年までの間に中日ドラゴンズ二軍バッテリーコーチや育成コーチを歴任。2015年12月1日、名古屋コーチン専門店「鳥開 総本家」を展開するプログレの硬式野球チーム「鳥開ベースボールクラブ」の監督に就任。2017年7月1日より名古屋学院大学硬式野球部監督。

【名古屋学院大学硬式野球部】

現在、部員数77名。活動場所は名古屋学院大学瀬戸キャンパス野球場(〒480-1298 愛知県瀬戸市上品野町1350)。今春の愛知大学野球春季リーグでは、2部Aリーグ1位、敢闘賞に野田 朋希投手。

卒業生には、高柳 正道氏(元北海道日本ハムファイターズ)、曾我部 直樹氏(現オリックス・バファローズ)球団職員。1995年のドラフト4位で阪神タイガースに指名され、入団。2004年、千葉ロッテマリーンズ入団。2011年、オリックス・バファローズに入団、球団本部管理部運営グループ配属)。